

◆2025年 年頭所感

地域から未来を
考える建築士に！

佐賀県建築士会会長 小島 啓



新年あけましておめでとう
ございます。令和7年の新しい
年を迎え、謹んで新春のお
慶びを申し上げます。旧年中

は皆様方には一般社団法人佐賀県建築士会の運営・事業推進に格別のご協力、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年は、日本中で35度を超す猛暑日が続き、9月の残暑も厳しく、佐賀県内でも各地の農作物等にも様々な影響がありました。佐賀市でもこの夏、猛暑日が47日もあり過去最多になったようです。地球温暖化の進行で「異常気象」

になり、高温によつての集中豪雨や台風が強度が増す事での甚大な自然災害も心配されましたが、佐賀県はなんとか無事に一年過ごすことができました事に感謝しております。

今年2025年は改正建築基準法・改正建築物省エネ法が4月より施行されます。これにより、私たち建築士が行う建築確認申請の業務等が複雑になり、業務量も増えてくる事が予想されますが、今回の改正により建築物の省エネ性能の向上や耐震性の強化、さらには木材利用の促進等、建築分野のあらゆる面で大きな変革をもたらし、持続可能な社会の実現と共に、エネルギー効率や安全性を高め

る目的に大きな影響を与えてくれるものと思います。今後我々建築士は建築物を取り扱う上で、建築基準法の目的である人々の生命、健康、財産の保護は当然のこと、そして異常気象による自然災害を少なくできるように地球環境にも常に考慮し、脱炭素社会実現へ向けての技術者と成る事も使命であると思っております。

佐賀県建築士会会員一同、気持ちを一層努力して参りますので、よろしく願ひします。

そして今年も建築士会の役割である会員への自己研鑽の推進、建築関係の情報提供、会員による地域環境の保全、まちづくりなどの地域実践活

動、行政関係団体との協力事業としての災害復旧支援、建築士試験業務の受託、違反建築防止週間への協力、「佐賀県安全住まいづくりサポートセンター」の住宅相談業務、耐震診断業務及び耐震伝道師の派遣、空家等対策協議会への協力、佐賀県版気候風土適応住宅の基準運用、歴史的建造物の整備推進、そして将来の建築士育成としての佐賀県下工業高等学校設計競技の実施等様々な事業に取り組んでまいります。

最後に、皆様のご発展とご多幸そして災害のない一年になることを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

県土の保全と

調和ある地域発展に貢献

佐賀県地質調査業協会理事長 真弓 貴宏



新年明けましておめでとう
ございます。

昨年は、能登半島において元日にマグニチュード7・6の地震が発生、さらに、9月21日の大雨で死傷者が出るなど多大な被害があつていました。

8月8日には日向灘においてマグニチュード7・1の地震が発生し南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発令、8月29日には台風10号が鹿児島県薩摩川内市に上陸、10月22日には宮崎県延岡市、日南市で記録的短時間大雨情報が発表、11月9日には鹿児島県与論町で大雨特別警報がされるなど自然災害が後を絶たない状況です。

この場を借りまして、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますと共に、被災された方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。さて、昨年の衆議院議員選挙では与党が大敗しましたが、11月11日召集の特別国会で総理大臣指名選挙が行われ、第2次石破内閣が発足し

ました。昨年、佐賀県では幸いなことに大きな災害こそありませんでしたが、引き続き、「防災・減災、国土強靱化」の推進は、激甚化する災害への備えとして重大な課題であると思っております。当協会が行っている地質調査は、土木工事の大事な根幹をなすものであります。

また、技術の向上、新しい知識の習得に努めることが肝要であるとの思いで、従来から「現地研修会」、「技術講演会」、「地盤工学セミナー」などの研修会を開催しております。

働き方改革、給与改善、雇用確保に真摯に取り組む、世の中になくはない業界としての自負と魅力ある業界を造っていくため、協会会員一体となって、ジオ・ドクター(地盤の主治医)としての技術向上に努め、県土の保全と調和ある地域発展に貢献してまいる所存でありますので、今後とも皆様の温かいご指導・ご支援をお願い致します。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝とご発展を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

「共生し合う林」
のように

佐賀県建築士事務所協会会長 内田 要



新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
慶びを申し上げます。

昨年の1月1日石川県能登地方で発生した最大震度7の大地震により被災された方々へ一刻も早い復興をお祈りい

たします。尚、佐賀会が所属する九州・沖縄ブロック協議会より支援金を送っております。また、当協会では木造住宅耐震診断派遣事業・森川海人つフェス・佐賀県木造塾、BIMさろん(毎月第2火曜日)等に参加、開催しております。他に、令和7年2月に「改正建築物省エネ法・建築基準法の施行に向けた説明会・講習会」を当協会各支部にて開催します。

一方、当協会は、令和6年度九州・沖縄ブロック協議会

総会において、2025年全国大会開催県に内定されました。今後十分な準備に努め、会員・賛助会員の皆様のご協力をいただきながら佐賀大会の成功に向けて動き出します。

さて、我々設計業界は、高齢化による廃業と担い手不足に直面しております。ここで「共生し合う林」のように、日の当たらない幼木にも養分を与え、育成するシステムが必要だと考えます。今こそ佐賀の地域の中でスクラム(データーベース構築)を組むこと

で、ネットワーク(業務連携)を産むことができます。当協会は、経営継続へのバックアップと新規参入者への準会員制度(仲間づくり)を行います。

我々は、実業の協会として、会員・賛助会員の皆様の生活を守り、率先して行動し、将来に活路を見出すよう努めます。

最後に皆様方のご発展とご多幸を心から祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。